



A new paradigm

Bonanza³

ボナンザ3



TURQUOISE



MUSTARD



WHITE



サイズ	XXS	XS	S	M	L
セル数	65				
投影翼面積 (m ²)	16.58	17.99	19.52	21.11	22.83
翼面積 (m ²)	19.53	21.2	23	24.88	26.9
投影スパン (m)	8.93	9.31	9.69	10.08	10.48
スパン (m)	11.09	11.56	12.04	12.52	13.02
投影アスペクト比	4.81				
アスペクト比	6.3				
機体重量 (kg)	4.3	4.5	4.75	5.15	5.55
フライト重量 (kg)	60-75	75-90	85-100	95-110	105-125
認証 (EN/LTF)	EN C	EN C	EN C	EN C	EN C



ブーメラン12のウエーブリーディングエッジテクノロジー搭載

待望の2ライナー・スポーツクラスグライダー：ポナンザ3のインプレッションをお届けします。Mサイズ(95-110kg)にパラストで調整して、スターティングウェイト100kg、ハーネスはエアロタクトのブラックバードのプロトタイプを使用しました。

これまで2ライナーといえばCCCクラスやDクラスで、サンデーフライヤーにはハードルが高い存在でした。それがCクラスに登場することで、最新テクノロジーを身近に触れられるようになりました。

さらにジングライダーズのコンペティション機であるブーメラン12に採用された、ウエーブリーディングエッジテクノロジーを搭載したことも注目のポイントです。これはザトウクジラの胸ビレにある結節からヒントを得て生まれた技術で、すでに国際大会で高い評価と実績を得ています。



ウエーブリーディングエッジテクノロジーによる優れたクライミング性能を体験して下さい。



厳しいコンディション下でも、高いピッチ安定性を実現しました。

沸き上がる冒険心

コンディションは穏やかで快晴。午前のサーマルが出始める時間帯はサーマルが細くテクニカルなので、じっくり良いコンディションを待ってテイクオフします。ポナンザ3のライズアップはとても素直。もう少し癖のある感じを想像していましたが、これは扱いやすい!

頭上安定でもキャノピーはおとなしく、ブレイクコードで優しくコントロールが可能です。数歩動き出して離陸した瞬間、自分の中のスイッチが入る感じがしました。今日はどこへ連れて行ってくれるのだろうか。そんな冒険心をくすぐるフィーリングが、キャノピーから伝わってきます。

サーマルを掴んで、乱気流やシンクを切り裂く!

南テイクオフから離陸してすぐに、弱いリッジを伝いながら斜面をなぞるようにグライディング。弱いながらも、突発的なリフトがキャノピーを持ち上げようとしませんが、キャノピーは変な挙動を起こしません。直感的に「不思議な翼だ!」と思いました。

まだ活発なサーマルはなく、徐々に高度を失ってしまいましたが、細いサーマルがあったのでセンタリングします。タイトなセンタリングが要求される場面ですが、これまでのジングライダーズの感覚だと、翼が前方に食い込んでいこうとするのですが、ポナンザ3はその傾向がありません。キャノピーがしっかりとサーマルを掴んでくれている感覚が、ブレイクを通じて手に伝わってきます。

トップアウトできたところで、再び強いサーマルを狙いに移動を開始。ウインドシアによる乱れもありますが、キャノピーが変形することなくどっしりと安心感があります。

乱れた気流を受け流してくれる不思議な感覚!

岩屋山で1200mほどまで上昇したところから、長いグライディングを試してみました。約10kmのグライディングで回したのは5回だけ。時々あるリフトや乱れた風の中、ハーフアクセルとライザーコントロールで突き進みます。



リアライザーステアリング用の2ライザーにより、アクセル使用時の効率的なステアリングと素早い加速が可能です。



ポナンザ3は乱気流を切り裂き滑空しながらリフトを捕らえます。

ウエーブリーディングエッジテクノロジーの恩恵なのか、センタリング中に「突発的な乱れた気流」が来ても受け流すような感覚でグライディングしていきます。いつもならアクセルを緩めるタイミングでも、キャノピーを信じて踏み続けることができました。

その後、上げ直して再び長いグライディングで岩屋山へ。南斜面の+3m/sを超えるサーマルの中でも、速度を緩める必要はなく、短い時間でポナンザ3との信頼関係が築けたとフライトとなりました。

ポナンザ3は、あなたの中の忘れかけていた感覚や冒険心を思い出させてくれる魅力的な翼です!

Report. 只野正一郎